

北海道新聞
自治体PR・地方創生関連ご案内

「浦河町・様似町・えりも町・広尾町合同 観光情報交換会+物産展イベント」
札幌でのプロモーション（とんがりグルメフェア等）と紙面での展開

北海道日高東部の浦河町、様似町、えりも町と、十勝南部の広尾町の四町は、通称「とんがりロード」と呼ばれる天馬街道、日高耶馬溪、黄金道路で結ばれていることから、日高と十勝という、振興局圏域を越えた地域間連携によるエリアの活性化に共に取り組んでいます。この四町圏域の発展のために作られた「四町広域宣伝協議会」では、2017年度中の札幌圏での物産プロモーションを検討していたため、北海道新聞本社1階（札幌）の「道新プラザDO-BOX」での物産展を提案しました。

イベント初日の11月15日は、メディア・エージェント・観光行政へのPRと、これまでの活動報告を兼ねた「第1回とんがりロード観光情報交換会」を実施し、11月16～17日の2日間で地域特産品の販売をする「とんがりグルメフェア」を「道新プラザDO-BOX」と北海道新聞社本社1階玄関前ピロティスペースにて実施しました。

四町広域宣伝協議会では当初、過去に自治体や漁組で参加したことがあるイベントへのブース出展や、会場費がかからず食材をレストランメニューにも取り入れてくれるホテルとの物産展タイアップを検討していました。そこで、弊社からは「道新プラザDO-BOX」を活用した自治体物産イベントの過去事例をご紹介します。ホテルを会場に別予算で検討されていた観光情報交換会も「道新プラザDO-BOX」で一緒に実施できることもPRしました。ほかにも、「とんがり」エリアを広域にPRできる新聞広告に魅力を感じていただき、最終的に今回の実施になりました。

イベント初日には、四町長も来札される中、オープン前には約50人の行列ができました。目玉イベントの昆布つかみ取りにも多くの方が並び、一日中客足が途切れることなく賑わいをみせました。2日間の来場者数は約2,000名で、売上は約110万円と、目標としていた販売数も達成することができました。

地域の特産品の販売だけではなく、「とんがり」エリアの認知度アップへの貢献についても北海道新聞の媒体力を評価していただけました。今後もしっかりと貢献していきたいです。

（苫小牧支社営業部 東原光亮）



「とんがりグルメフェア」チラシ



物産展の様子



観光情報交換会の様子



（2017年11月12、16日朝刊 札幌本社版 全5段）

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局（TEL011-210-5713）または 各支社営業部へ（2018.3）

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中！【道新 営業局】で検索！（<http://adv.hokkaido-np.co.jp/>）